

# 決 算 報 告 書

(第 2 期)

自 平成 31 年 4 月 1 日  
至 令和 2 年 3 月 31 日

一 般 社 団 法 人 天 理 文 化 の 会

奈 良 県 天 理 市 三 島 町 3 7 9 番 地

# 貸借対照表

一般社団法人 天理文化の会

令和 2年 3月31日 現在

単位：円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【繰 延 資 産】	【 110,000】	【流 動 負 債】	【 76,800】
創 立 費	110,000	未 払 法 人 税 等	76,800
		【固 定 負 債】	【 248,717】
		役 員 借 入 金	248,717
		負 債 合 計	325,517
		純 資 産 の 部	
		【株 主 資 本】	【 Δ215,517】
		資 本 金	0
		(利 益 剰 余 金)	( Δ215,517)
		そ の 他 利 益 剰 余 金	Δ215,517
		繰 越 利 益 剰 余 金	Δ215,517
		純 資 産 合 計	Δ215,517
資 産 合 計	110,000	負 債 ・ 純 資 産 合 計	110,000

# 損益計算書

一般社団法人 天理文化の会

自 平成31年 4月 1日

至 令和 2年 3月31日

単位：円

科 目	金 額
<b>【売 上 高】</b>	
売 上 高	982,147
<b>【売 上 原 価】</b>	
仕 入 高	469,944
売 上 総 利 益 金 額	512,203
<b>【販売費及び一般管理費】</b>	807,806
営 業 損 失 金 額	△295,603
<b>【営 業 外 収 益】</b>	
雑 収 入	156,886
経 常 損 失 金 額	△138,717
税引前当期純損失金額	△138,717
法人税、住民税及び事業税	71,000
当 期 純 損 失 金 額	△209,717

# 販売費及び一般管理費

一般社団法人 天理文化の会

自 平成31年 4月 1日

至 令和 2年 3月31日

単位：円

科 目	金 額	
通 信 費	20,003	
交 際 費	50,250	
水 道 光 熱 費	22,170	
消 耗 品 費	76,547	
広 告 宣 伝 費	304,236	
事 業 費	322,584	
雑 費	12,016	
合 計		807,806

# 株主資本等変動計算書

一般社団法人 天理文化の会

自 平成31年 4月 1日

至 令和 2年 3月31日

単位：円

## 株主資本

資本金 当期首残高及び当期末残高 0

## 利益剰余金

### その他利益剰余金

繰越利益剰余金 当期首残高 △5,800

当期変動額 当期純損失 △209,717

当期末残高 △215,517

利益剰余金合計 当期首残高 △5,800

当期変動額 △209,717

当期末残高 △215,517

株主資本合計 当期首残高 △5,800

当期変動額 △209,717

当期末残高 △215,517

純資産合計 当期首残高 △5,800

当期変動額 △209,717

当期末残高 △215,517

## 個別注記表

---

一般社団法人 天理文化の会

自 平成31年 4月 1日

至 令和 2年 3月31日

この計算書類は、中小企業の会計に関する指針によって作成しています。

### 重要な会計方針に係る事項に関する注記

その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式（又は税込方式）によっています。

# 勘定科目内訳書

(第 2 期)

自 平成 31 年 4 月 1 日  
至 令和 2 年 3 月 31 日

一般社団法人 天理文化の会

## 借入金及び支払利子の内訳書

借 入		先	期 末 現 在 高 円	期 中 の 支 払 利 子 額 円	利 率 %	担 保 の 内 容 (物件の種類、数量、所在地等)
名 称 (氏 名)	所 在 地 (住 所)	法 人 ・ 代 表 者 と の 関 係				
松岡 修一朗	奈良県天理市指柳町318 -1	本人	248,717			
合 計			248,717			

- (注) 1. 借入先別期末現在高が50万円以上のものについては各別に記入し、その他は一括して記入してください。  
2. 借入先が「役員、株主又は関係会社」のものについては、期末現在高が50万円未満であっても全て各別に記入してください。また、「期末現在高がないものであっても期中の支払利子額（未払利子を含みます。）が3万円以上」のものについては、各別に記入してください。  
3. 上記1により記載すべき口数が100口を超える場合には、次の①又は②の方法により記入しても差し支えありません。  
① 期末現在高の多額なものを100口についてのみ記入（この場合、100口目には50万円未満のものも含む残額全てを一括して記入）  
なお、「借入先が役員、株主又は関係会社のもの」又は「期末現在高がないものであっても期中の支払利子額（未払利子を含みます。）が3万円以上のもの」がある場合には、当該事項も含めて100口となるように記入してください。  
② 期末現在高を自社の支店又は事業所等で記入（支店又は事業所等の名称を「名称（氏名）」欄に記入するとともに、「期末現在高」欄及び「期中の支払利子額」欄にその支店又は事業所等の合計金額（50万円未満のものも含む合計金額）を記入）  
4. 「利率」欄には、同一の借入先に対する利率が2以上ある場合には、そのうち期末に近い時期における支払利子の利率を記入してください。  
5. 外国法人又は非居住者から借り入れたものについては、「所在地（住所）」欄には、国外の所在地（住所）を記入してください。



雑益、雑損失等の内訳書

科 目	取引の内容	相 手 先		金 額 円
		名称(氏名)	所在地(住所)	
雑	雑収入	活動協力金	木村建設 他	150,000
	〃	委員会事業余剰金	人材委員会	6,886
	計			156,886
益				
雑 損 失 等				

(注) 1. 雑収入、雑益(損失)、固定資産売却益(損)、税金の還付金、貸倒損失等について、科目別かつ相手先別の金額が10万円以上のものについて記入してください。  
 なお、土地の売却益(損)を「⑦固定資産(土地、土地の上に存する権利及び建物に限る。)の内訳書」に記入している場合には、記入しなくても差し支えありません。  
 2. 取引の内容が「税金の還付金」のものについては、期末現在高が10万円未満であっても全て各別に記入してください。  
 3. 上記1により記載すべき口数が100口を超える場合には、金額の多額なものから100口についてのみ記入しても差し支えありません。  
 なお、取引の内容が「税金の還付金」である場合には、当該事項も含めて100口となるように記入してください。